

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●橋口慎介調教師がJRA初勝利をあげる

3月5日(土)の1回阪神3日・第8レースではミカエルシチーが1着となり、同馬を管理する橋口慎介調教師(栗東)はJRA初勝利をあげました。橋口調教師は今年3月1日(火)の開業で、これが管理馬の出走2戦目のことでした。

●D.バルジュー騎手がJRA通算100勝を達成

3月6日(日)の1回小倉8日・第2レースではアヴェヌモンが1着となり、同馬に騎乗したダリオ・バルジュー騎手(イタリア)は、現役83人目、外国人騎手としては5人目となるJRA通算100勝(1282戦目)を達成しました。

●西田雄一郎騎手がJRA通算200勝を達成

3月6日(日)の1回小倉8日・第6レースではメイスンキャプテンが1着となり、同馬に騎乗した西田雄一郎騎手(美浦・フリー)は、現役58人目となるJRA通算200勝(5621戦目)を達成しました。

●第1回小倉競馬リーディングジョッキーは藤岡康太騎手

3月6日(日)をもって1回小倉競馬が終了し、13勝をあげた藤岡康太騎手(栗東・フリー)が2年連続となる開催リーディングジョッキーとなりました。

●ディーブインパクト産駒が史上最速でJRA通算1100勝を達成

3月6日(日)の2回中山4日・第8レースではソールインパクトが1着となり、ディーブインパクト産駒のJRA通算勝利数が1100勝となりました。これはJRA史上11頭目の記録で、産駒の初出走から数えて5年8か月16日での1100勝達成は、キングカメハメハ産駒の6年7か月5日を大幅に上回る史上最速の記録となります。

●アクティビューティの競走馬登録抹消

2013年クイーン賞(船橋・JpnⅢ)の勝ち馬アクティビューティ(牝9歳/栗東・柴田光陽厩舎)は、3月4日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績29戦5勝・地方15戦1勝で、今後は北海道浦河町の宮内牧場で繁殖馬となる予定です。

●中山グランドジャンプに外国馬の出走はなし

中山グランドジャンプ(J・G I)とベガサスジャンプSの選出馬となっていた外国各馬の関係者から出走を辞退する旨の連絡がありました。これにより両レースへの外国馬の出走はなくなりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ダイオライト記念(船橋)でクリソライトが連覇達成

ダイオライト記念(JpnⅡ、3月9日、船橋、2400m)は、逃げたクリソライト(武豊騎手、牡6歳、父ゴールドアリュール)が3番人気のクリノスターオーに1馬身半差を付け、単勝1.3倍の支持に応えました。マイネルバイカは5着、2番人気のストロングサウザーは6着に敗れています。

●3月15日の黒船賞(高知)で連覇を狙うダノンレジェンド

黒船賞(JpnⅢ、高知、1400m)は、昨年の優勝馬ダノンレジェンドが中心、次いでドリームバレンチノ、タールタン、ニシケンモノノフ、メイショウオセアンの順に有力視されますが、展開次第でクラシャイニー(高知)、ラブバレット(岩手)にも上位進出の可能性がありそうです。

●アウォーディーらが参戦、3月17日の名古屋大賞典(名古屋)

名古屋大賞典(JpnⅢ、名古屋、1900m)は、昨年10月のシリウスS優勝以来の出走でもアウォーディーが最有力候補となり、以下ダブルスター、モズライジン、パンズーム、マドリードカフェまでが争奪圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●NZダービーは地元馬ランギボが大接戦を制す

ニュージーランド・ダービー(G1、芝2400m)は3月5日、北島のエラズリー競馬場に18頭が出走して行われ、1番人気のランギボ(オーストラリア産、騾3歳、父ストライカー)が先行集団の外目から差し、最内から伸びたワッツザストーリーに短頭差をつけ、5着までが約1/2馬身差内となる大激戦を制しました。これで12戦7勝、G2勝ちが3つあり、G1は初勝利。稍重の勝ちタイムは2分28秒89。勝利騎手V.コールガン、調教師T.バイク。

●ポストボンドがドバイの前哨戦快勝、ドゥラメンテの強敵に

ドバイのメイダン競馬場で3月5日、ドバイシティオブゴールド(G2、芝2410m)が行われ、昨年の“キングジョージ”(英G1)を勝ったポストボンド(牡5歳、父ドバウイ)が3番手から直線であっさり抜け出し、仏のダリアンに3馬身差の快勝。勝利騎手A.アッゼニ、調教師R.ヴェリアン(英)。これでドバイ・シーマクラシック(3月26日)の海外主要ブックメーカーのオッズは、ポストボンドが3~3.5倍で1番人気へ。ドゥラメンテは3.25~4.5倍の2番人気です。